

長崎大学感染症共同研究拠点研究棟 の建設工事の状況について

実験棟、研究棟の概要

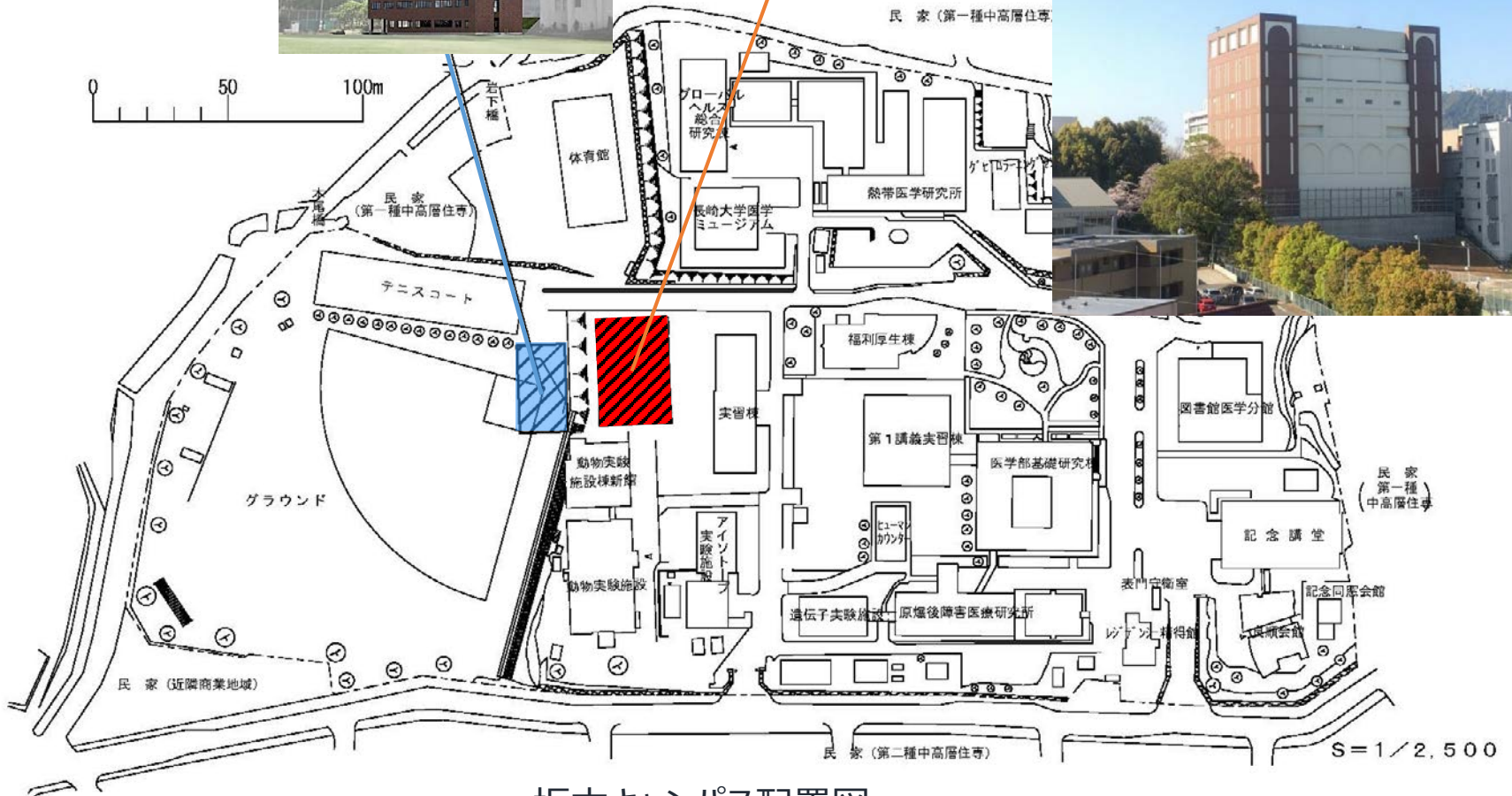
研究棟：BSL-4病原体を扱わない施設

- ・ 実験棟の利用をより安全かつ効率的に行えるよう、教育・研究活動及び実験棟管理運営業務を行うための施設。
- ・ 7階建て、約3600㎡
- ・ 令和4年3月末 竣工（予定）

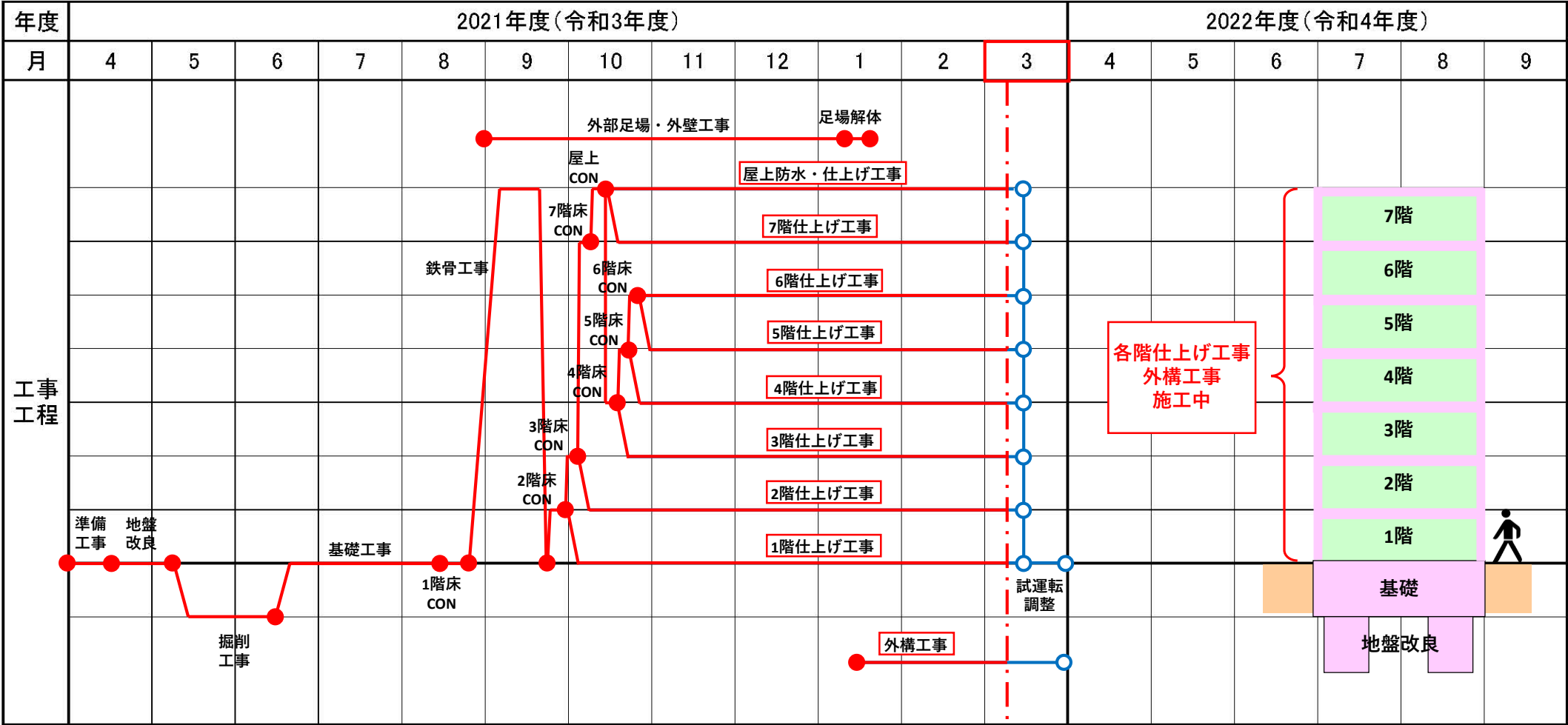


実験棟：BSL-4病原体を扱える施設

- ・ 5階建て、約5200㎡
- ・ 令和3年7月30日 竣工

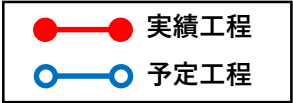


感染症共同研究拠点研究棟工事スケジュール（令和4年3月現在）



【鉄骨造建物の工事の流れ】

- ・ 建物を支えるための基礎（鉄筋コンクリート造）を作る。
- ・ 建物の骨組みとなる鉄骨を建てる。（最上階まで）
- ・ 床のコンクリートを打設する。
- ・ 鉄骨に外壁パネルを設置する。
- ・ 上階の床コンクリート打設が完了した階から仕上げ工事を行う。



【備考】

地盤改良：セメント系固化材と土を攪拌し、地中に建物を支えるための柱状の改良体を作る工事
○階床CON：○階の床のコンクリート工事
仕上げ工事：各階の内装工事（ボード張りや塗装など）及び設備工事（電気設備、空調設備など）
外構工事：建物の外回りの工事（舗装など）



施工状況全景（2/24撮影）



施工状況全景（2/24撮影）



内装工事施工状況（3/7撮影）



内装工事施工状況（3/7撮影）



グランド復旧工事施工状況（3/7撮影）